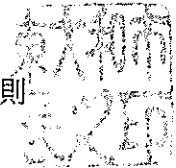


大建土収第 3003 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

東大和市長
尾 又 正 則



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記のこと
について、別添のとおり回答致しますのでよろしくお願い致します。

(1) 補助事業の対象拡大について

財政基盤が脆弱な当市にとっては、高齢社会を迎え、福祉関係予算への歳出が増すなか、投資的な事業費の確保が難しくなっている。

また、老朽化した社会資本の維持管理についても十分な予算措置が厳しい状況となっている。このような中では、補助事業の対象が一定の規格を満たす都市計画道路の新設に限られるのではなく、幅員が狭い生活道路整備をはじめとして、橋梁や道路付帯施設の改修を含む維持補修に幅広く適用されることを強く望むものである。

例

- ・舗装補修に係る補助対象の拡大
- ・街路樹、植樹帯の剪定や樹木診断調査等への補助
- ・雨水排水施設の清掃への補助
- ・橋梁の点検調査、診断等への補助

(2) 事業評価制度の運用について

公共事業のより一層の効率的な執行と透明性の確保を図るため、費用対効果を検証し、短期間の事業執行に努めることが重要と理解しているが、厳しい財政状況のなかで事業の進捗が鈍化し、長期化する傾向にある。

このため自治体における整備路線の位置づけによっては、長期事業化路線においても事業を継続できるよう、制度の運用を図っていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

東京都 東大和市

○現状	○課題
・幹線道路の道路網が整備されていない。 ・幅員の狭い道路を通学路に指定せざるを得なかったり、生活道路にも通過交通の車両が多く進入している。 ・駐車場を設置できない商店が多く、商店街の活力低下につながっている。 ・鉄道等の駅までの自転車利用者が増加している。 ・高齢化社会を迎え、ユニバーサルデザインに基づく街の再整備が求められている。 ・舗装の老朽化に伴い、振動等に対する苦情が増加している。 ・大雨時に道路冠水する箇所があるが、公共下水道雨水整備が遅れており、解消できない。	・都市計画道路の整備促進 ・生活道路の計画的な整備 ・路外駐車場の整備 ・駅周辺駐輪場の新設や整備 ・古い設計基準で整備し、老朽化した道路の改修 ・道路の計画的な補修 ・雨水整備事業の早期実施

幹線道路から生活道路までがユニバーサルデザインに基づき整備され、市民の誰もが安全で快適に移動できる道路交通環境の整った街。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

東京都 東大和市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子高齢化に対応した安全・快適な街づくり	生活道路の整備	ユニバーサルデザインに基づく道路の整備により、誰もが安全に通行できる環境が整備される。	
・交通安全対策	歩道の整備	市内の道路幹線網における歩道のネットワーク化により、自転車、歩行者の安全が確保される。	
・			